
RSS公開

RSSフィードをセットアップするには、次のいずれかの役職が必要です：

- 統括システム管理者
- リポジトリ管理者
- 目録管理者

[RSS \(リッチサイト概要\) フィード](#)はディスカバリーインターフェイス (Primo) にレコードをプッシュし、公開されたか、または目録に追加された新しいアイテムを識別します。これを使用して、新しい書籍リストを作成できます。

RSSフィードに含まれる図書館アイテムは、設定のセッティングとRSS公開プロファイルの相対的な日付範囲によって決まります。

Internet ExplorerではRSSの完全なサポートが提供され、Firefoxではある程度のサポートが提供されていますが、ChromeではRSSのサポートは提供されていません。IE以外のブラウザでRSSを使用するには、そのブラウザのヘルプを参照してアドオンまたは回避策を見つけてください。

新しいRSSフィードワークフロー

新しいRSSフィードを作成するには、次の手順を実行します：

1. 冊子アイテムセットを作成して ([検索クエリの保存と再利用](#)を参照)、新しい書籍のリストを見つけることが期待されるレコードのセットを識別します。RSS公開プロファイルを構成するときに、このセット名が必要になります。

Note

RSSプロファイルで使用できるのはロジカルセットのみです。アイテムセットは、プロファイルの実行時にリストされません。

-
1. RSSディスカバリーURLを作成します ([RSSディスカバリーURLの作成](#)を参照)。
 2. すべての部分を識別し、新しい書籍リストプロセスに使用する必要があるRSSディスカバリーURLを作成した後、`rss_discovery_url`にURLを入力します ([その他の設定](#)参照)。
 3. 90〜2日前の新規の定義を含むRSS公開プロファイルを作成します (以下の[RSS公開プロファイルの構成](#)で説明されている最大日数前と最小日数前の設定を参照してください)。
 4. RSSフィードのURLを作成します ([RSSフィードURLの作成](#)参照)
 5. 必要に応じて、データベースに (上記で保存したセット内で) 新しい書籍が追加/受入されたことを確認します。
 6. RSS公開プロファイルが正常に作業の監視ページ上で処理を完了していることを確認します ([完了したジョブの表示](#)を参照)。
 7. RSSフィードURLを使用して、ブラウザーにURLを入力し、Primoで結果を表示することにより、新しい書籍リストを表示します。 [スケジュールされたジョブの表示](#)を参照してください。

RSS公開プロファイルの設定

RSSフィードを設定するには：

1. リソース > 公開 > 公開プロファイルの順に開きます。
2. プロファイルの追加を選択し、RSSオプションを選択します。空のRSSプロファイルに対して、公開プロファイルの詳細ページが表示されます。
3. 以下の表を使用して、RSS公開プロファイルを設定します。

RSS公開プロファイル

フィールド	説明
プロファイル詳細	
プロファイル名	このRSSフィード公開プロファイルの一意の名前。公開プロファイルページのリストでプロファイルを識別するために使用されます。
プロファイル説明	公開プロファイルページに表示されるプロファイルの詳細。
ステータス	<ul style="list-style-type: none">・ アクティブ（黄色のチェックマーク）。使用中または使用可能であることを意味します。または・ 非アクティブ（チェックマークをオフ）。現在使用できないことを意味します。
スケジューリング	この公開プロファイルを実行するタイミング。
Eメール通知	RSSジョブが完了したときにEメール通知を受信するユーザーとEメールアドレス。スケジュールされたジョブのEメール通知ページを開く場合に選択します。成功したジョブおよび/またはエラーを含むジョブについて通知を送信するかどうかを選択します。
RSSフィードパラメータ	
RSSフィード名	フィードへのリンクを生成するために使用される名前。名前にスペースを使用しないでください。
言語	言語コードテーブルのドロップダウンリスト。デフォルトは空です。値が選択されると、それ以降のプロファイル使用時のデフォルトになります。
RSSフィードタイトル	公開プロファイルリスト内のプロファイルの名前。 これは、RSSフィードの結果にも表示されます。
RSSフィード説明	公開プロファイルリストに表示されるプロファイルの説明。 これは、RSSフィードの結果にも表示されます。
配架ロケーション名を表示する	出力に完全なロケーション名を含めるか、ロケーションコードのみを含めるか。
RSSバージョン	RSS 2.0 XMLを使用してRSSフィードを公開するには、このチェックボックスを選択します。

フィールド	説明
ョン 2.0	
人口を選択	
セット名	RSSアクションが適用される冊子アイテムのセット。
過去の最大 限度日数	フィードの新しいアイテムを検索する過去の最大日数。新規は、冊子アイテムエディタページで識別されるアイテムの受入日によって決定されます。 デフォルトの日数は60です。この数は90を超えることはできません。
過去の最小 限度日数	新しいアイテムを検索する過去の最小日数。デフォルトは2で、2日はPrimoとの同期を保証するために必要な最小日数です。この数は、過去の最大限度日数を超えることはできません。

4. 保存を選択します。公開プロファイルリストページが表示され、新しいRSSフィード公開プロファイルがリストされます。

RSSディスカバリーURLの作成

RSSディスカバリーURLは、すべてのRSS公開フィードにリストされているアイテムへのディープリンクを生成するためにAlmaが使用するベースURLを定義します。

Primo VEについては、次のテンプレートを使用して、RSSディスカバリーURLを定義します：

```
http://<Primo_domain>/discovery/  
search?vid=<view_code>&tab=<search_slot>&search_scope=<scope_code>&query=any,contains,@@ALMA_MM
```

- **Primo_domain** - PrimoのUIで使用するドメインを指定します。
- **view_code** - Primo VEにビューのコードを指定します。詳細については、[Primo VEのディスカバリービューの設定](#)を参照してください。
- **search_slot** - ビュー内の検索プロファイルスロットのコードを指定します。詳細については、[検索プロファイルスロットの設定](#)を参照してください。
- **scope_code** - 検索先のスコープのコードを指定します。詳細については、[Primo VEの検索プロファイルの設定](#)を参照してください。

Primo VE用の機能的RSSディスカバリーURLの例は、次のようになります：

```
https://myprimo.exlibrisgroup.com/discovery/  
search?vid=MY_INST:MINES&tab=Everything&search_scope=MyInst_and_CI&query=any,contains,@@ALMA_MM
```

Primoの場合、次のテンプレートを使用してRSSディスカバリーURLを定義します：

```
http://<Primo_domain>/primo_library/libweb/action/  
dlSearch.do?institution=<institution_code>&vid=<view_code>&tab=<tab_code>&search_scope=<scope_na
```

- **Primo_domain** - PrimoのUIで使用するドメインを指定します。
- **institution_code** -Primoバックオフィスの機関ウィザードで定義されたPrimoの機関コードを指定します。詳細については、[機関ウィザード](#)を参照してください。
- **view_code** - Primoバックオフィスのビューウィザードで定義されたPrimoのビューコードを指定します。詳細については、[Primoビューの設定](#)を参照してください。
- **tab_code** - Primoバックオフィスのビューウィザードで定義されたビューのタブコードを指定します。詳細については、[ビューのタブの設定](#)を参照してください。指定しない場合、システムはビューのデフォルトを使用します。
- **scope_name** - Primoバックオフィスのビューウィザードに定義された、検索したいスコープの名前を指定します。詳細については、[検索スコープの設定](#)を参照してください。指定しない場合、システムはビューのデフォルトを使用します。
- **source_code** - Primoバックオフィスのデータソースページで定義されているソースコードを、指定します。（[データソースの設定](#)を参照）所属機関が共同ネットワークのメンバーである場合、この値は空白のままにします。

ブリーフ検索ディープリンクのパラメータの使用の詳細については、開発者向けネットワークの[ブリーフ検索ディープリンク](#)を参照してください。

Primo用の機能的RSSディスカバリーURLの例は、次のようになります：

```
http://demo.primo.exlibrisgroup.com:1701/primolibweb/action/
dlSearch.do?institution=EXLDEV1_INST&vid=Alma&tab=default_tab&search_scope=Alma&query=any,contai
```

Note

新しいPrimo UIを使用しており、従来のPrimo UIから切り替えていない場合は、次のテンプレートを使用してRSSディスカバリーURLを定義します。

```
https://<Primo_domain>/primo-explore/
search?institution=<institution_code>&vid=<view_code>&tab=<tab_code>&search_scope=<scope_name>&
```

RSSディスカバリーURLを定義したら、その他の設定（[管理 > 一般設定 > 設定メニュー > 一般的な設定セクション](#)）のマッピングテーブルページに配置されているrss_discovery_urlパラメータにそれを入力することができます。

RSSフィードURLの作成

RSSフィードURLは、RSSフィード内のレコードを取得します。RSS公開ジョブを実行するたびに、RSSフィードには、受信日がRSS公開プロファイルで設定した **最小/最大日数前** の範囲内にあるアイテムのレコードが結果に含まれます。これらのレコードは、新しい書籍リストの新しい書籍のリストになります。ユーザーは、Primoまたは別の図書館Webページに配置されているRSSフィードURLへのリンクを選択することにより、RSSフィードにサインアップできます。次のテンプレートを使用してRSSフィードURLを作成します。これは、RSS公開プロファイルの完成したジョブレポートを表示することで確認できます：

```
http://<Alma_domain>/rep/
getFile?institution_code=<institution_code>&file=<RSS_feed_name>&type=RSS
```

- **Alma_domain** - Almaドメインを指定します（[自分のAlmaドメイン名](#)を参照）。
- **institution_code** -Almaで所属機関に割り当てられているコードを指定します。

- **RSS_feed_name** - RSS公開プロフィールで定義されたRSSフィードの名前を指定します：

以下は、RSSフィードURLの例です：

```
http://demo.alma.exlibrisgroup.com:1801/rep/
getFile?institution_code=EXLDEV1_INST&file=library_science_RSS_name&type=RSS
```

公開RSSフィードジョブ

RSSフィード公開プロフィールを完了すると、プロフィールで定義されたスケジュールに従ってRSSフィード公開ジョブが実行されます。

ジョブの進行状況を表示するには、次のいずれかを使用してジョブを見つけます。

- **[ジョブの監視]**ページの**[公開]**フィルター（[実行中のジョブの表示](#)と[完了したジョブの表示](#)を参照）
- または**[プロフィールの公開]**ページのRSSプロフィールの行アクションリストから**[履歴]**を選択します。

完了したジョブについては、行アクションリストからレポートを選択して、ジョブレポートページを開きます。

ジョブレポートは次のようになります。

ジョブレポートに表示されるカウンター：

- **新しいレコード (P)** - 論理設定基準（受信日）で実際に公開されたレコードの数。
- **フィルタリングされたレコード** - ここでは関係ありません。このカウンターは無視してください。

RSSフィードの公開ジョブの結果として作成されたファイルに加えて、Almaは各RSSジョブの概要リンク（ジョブレポートページに表示）を次の形式で生成します：`http://<Alma domain>/rep/getFile?institution_code=<Alma Institution Code>&file=<RSS feed name>&type=RSS`。これは、[RSSフィードURLの作成](#)で説明したのと同じURLフォーマットです。

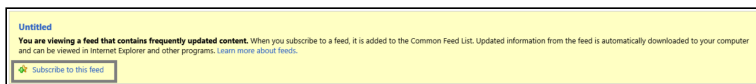
RSSフィードの結果を表示して購読するには

Note

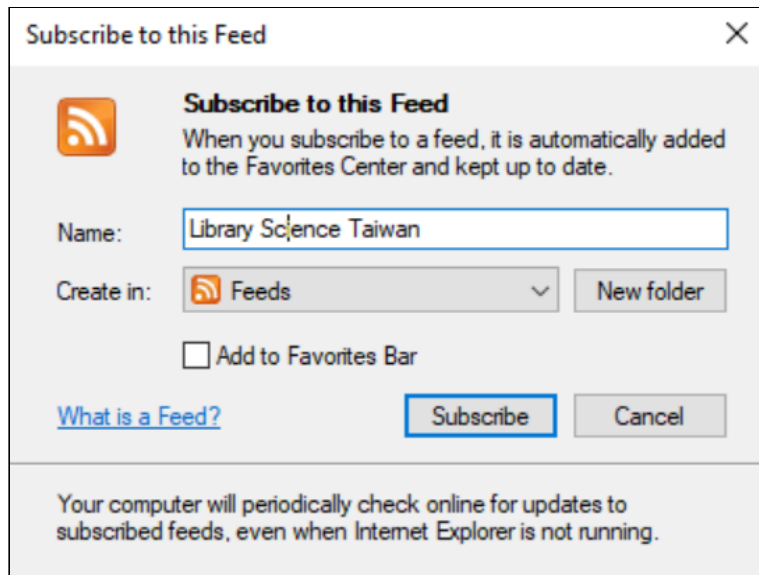
以下の例では Internet Explorer を使用しています。その他のブラウザでは、結果が若干異なります。Ex Libris は、RSS フィードを購読するための様々なブラウザの機能 に関与しません。

RSS フィード発行プロファイル（つまり、新しい書籍リスト）の結果を表示して購読するには、次のように進めます：

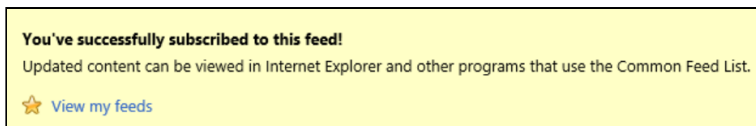
1. ジョブリポートページ内のリンクを選択するか、または [RSS フィード URL の作成](#) セクションで作成した RSS フィード URL をブラウザにコピー/ペーストします。
どちらの方法でも、公開プロファイルで指定した期間の基準に一致するアイテムのリストを含む下のようなフォーマットのページが開きます。これが新しい書籍リストです。



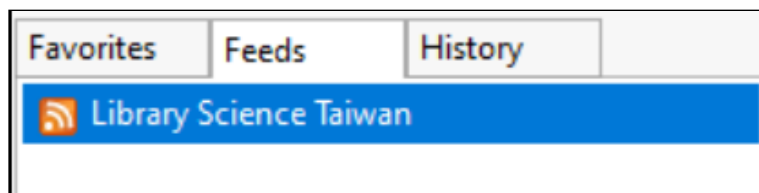
2. 「このフィードを購読する」を選択し、詳細を入力します。



購読に成功したことを確認するメッセージが開きます。



3. 結果を表示するには、[フィードを表示]を選択します。新しいRSSフィード結果リストが開きます。



4. RSS フィードの結果リストにあるアイテムを見るには、リスト内のレコードの1つのリンクを選択します。そのアイ

テムがディスカバリーツール/Primoで開きます。

公開データのフォーマット

これは、XMLファイル構造の例です。

```
<rss xmlns:atom="http://www.w3.org/2005/Atom" version="2.0">
<rss>
<channel>
<link></link>
<description></description>
<language></language>
<item>
<title></title>
<link></link>
<author></author>
<description>
<language></language>
<format></format>
<mattype></mattype>
<pubDate></pubDate>
<arrivalDate></arrivalDate>
</item>
</channel>
</rss>
```

Note

公開基準を満たす冊子アイテムがない場合（論理セットの定義に従って、または公開プロファイルで定義されている「最大日数前」と「最小日数前」に従って）、公開の結果として作成されたXMLページは空になります。これは、そのような空のページの例です。

This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document tree is shown below.

```
<rss xmlns:atom="http://www.w3.org/2005/Atom" version="2.0"> </rss>
```